

2019 日本パッケージングコンテスト受賞のお知らせ

この度、日本包装技術協会が主催で毎年開催されています「2019 日本パッケージングコンテスト」において、王子コンテナー、ムサシ王子コンテナーの作品が6点以下の各賞を受賞しました。

日本パッケージングコンテストとは公益社団法人日本包装技術協会が主催し、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまで、その年の包装の最高峰と優秀群を決定するものです。

第41回となる今年は、389点もの申し込み総数となりたくさんの注目を集めるコンテストとなりました。

■アクセシブルデザイン包装賞

『CO・OP ドレッシング 300ml/ 500ml×12本 UD カートン「かんたんオープン」』

日本生活協同組合連合会様、王子コンテナー、
王子産業資材マネジメント

「CO・OP ドレッシング」の段ボールカートンで、側面胴部に一周させた波形のミシン刃を引き破ることで、簡単・きれいにトレイと蓋部分割が可能な形状とした。従来の半分程度の時間で開封でき、作業者の負担を軽減させた。カットテープを使わないことでごみ削減とコスト削減にもなった。



■POP・店頭販売包装部門賞

『「紅はるか」 8角キャリングケース』

J A 大津松茂 松茂支所様、王子コンテナー、日本青果包装、
王子産業資材マネジメント

8角形状とし面取り部を活用し印刷をすることでアイキャッチ効果が期待できる。商品（芋）のイメージを赤と黒の2色のフレクソ印刷で表現した。持ち手を付けることで、購入後の持ち帰りが便利になった。通常の立方体のケースより使用材料が少なく、コストダウン効果も得られる。



■輸送包装部門賞

『縦型カップ麺用易開封ダンボール』

明星食品(株)様、王子コンテナー

店頭での品出し・陳列が簡便・短時間ででき、流通現場の人手不足解消への貢献、また設備変更なしで製造できるよう、段ボール設計を見直し、①開封工程が5工程（20秒）から2工程（5秒）に短縮、②開封後そのまま陳列でき、解体も容易な包装を開発した。さらに開発時に発生した細かな切れ端は、新方式は発生しないよう改善ができた。



■輸送包装部門賞

『ポテトチップス シェルフレディパッケージ (輸送兼陳列箱)』
カルビー㈱様、王子コンテナ

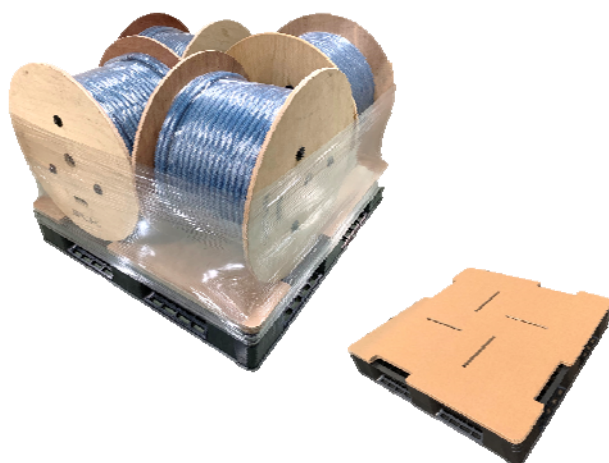
店頭で開封してそのまま陳列箱となる「シェルフレディパッケージ」の需要が高まっている。そこで作業者が手で開封でき、そのまま積み上げ陳列できるケースを開発した。ジッパー加工による開封機能を設け、強度に影響の少ない縦方向のジッパーを底面まで配置して強度劣化を抑制し、天面・側面を開けて開封部を大きく、中身の視認性が高い陳列箱とした。



■大型・重量物包装部門賞

『高圧電線ドラムの「風車梱包」』
矢崎総業㈱様、矢崎エナジーシステム㈱様、王子コンテナ、
王子インターパック

近年自動車のHV化/EV化が加速し、車載される電線の需要が増えている。海外工場と流通しやすいT11循環パレットを活用し、電線ドラムを「風車状」に配置した。段ボールに溝を作り、電線ドラムの「ツバをはめるだけ」で固定をした。梱包作業を「外部梱包」から「社内梱包」にし、リードタイムの短縮や、大幅なコストダウンも実現した。



■大型・重量物包装部門賞

『フューエルパイプ集合包装仕様改善』
本田技研工業㈱様、ムサシ王子コンテナ

自動車部品のフューエルパイプ (以下パイプ) は、給油口と燃料タンクをつなぐ部品で、集合包装で輸出している。パイプは長く、大きく、湾曲しているため、包装は3D-CADにより理想的なレイアウトを検討し、梱包・開梱作業も容易にできる構造とした。また仕切りもパイプ同士の干渉を抑制し、従来の1ケース30本を60本へ、積載効率を向上した。



なお受賞作品は、2019年10月10日(木)～11日(金)東京丸の内『KITTE』にて開催されます「暮らしの包装商品展2019」のグッドパッケージングコーナーに展示されます。同展示会には王子グループからも出展を予定しています。

詳しい問合せは 当社営業本部 CS推進部 山本 までご連絡ください。

メールアドレス：yamamoto2135ta@oji-gr.com